

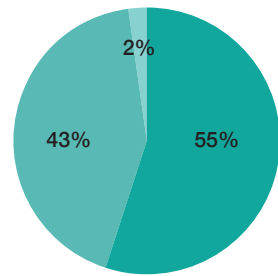
講評



今回は、細工人形や三州瓦といったキーワードでしたが、これから先のワークショップでは、それらの言葉が福祉的な言葉に変わってきます。今日の様子を見ていて、これから先どんな楽しみが生み出されていくのかがとても楽しみになりました。ワークショップ以外の学校や会社でも、どうすれば面白い会議のなるのかというのを考えてもらえればと思います。感覚的に面白いアイデアを生み出し、たくさんの方に発表して仲間を増やしていただければと思います。

アンケート結果

Q1. 今回のワークショップの感想を教えてください。



- 大変良かった
- 良かった
- 普通
- やや悪かった
- 悪かった

Q2. 一番印象に残っていたことは何ですか。

- 福祉の意味。公=行政ではないではないこと。
- 笑顔(作り笑い)で寿命がのびる話。
- 山崎さんの「楽しさの自給率を高める」というお話がなるほど!という感じでした。
- 半分は正しいこと、半分は感性を大切にすること。
- 否定しないことや、いろいろな意見を聞くことで頭がやわらかくなったこと。
- 「おまん」と自分たちの「楽しいこと」をどう組み合わせるかを考えることが楽しかった。カード1つ1つが可愛い!!
- 高浜には熱心な人材がたくさんいる!

Q3. どんなことを期待して参加されましたか。

- 若い世代が楽しめるような街づくり。停止しているかわまち写光会の復活。
- みなさんの話を聞き、自分自身の仕事に活かせる事があるのではないかと思います。
- いつもの決まった顔ぶれとは違ったメンバーでのワークショップ。

Q4. 新たに気づいた高浜市の魅力や課題はありましたか?

- 伝統的なもの(細工人形、瓦)をあたりまえに思っていた。再認識できた。
- 市の行政の方々の意欲の強さと柔軟さ。
- 若い人たちのアイデアが楽しい。それをもっと吸い上げて活用したら良い。

Q5. その他感想をご自由にお書きください。

- とても楽しく充実した時間を過ごせました。楽しさを生み出す自給率UP↑大人が楽しんで、子ども達にも楽しさが伝わると思います。

きっと仲間が見つかる。

プロジェクト紹介カード



これから高浜市をよりよくしていくには、アイデアを考える人やプレーヤー、活動に興味をもってくださるたくさんの仲間を増やしていく必要があります。プロジェクト紹介カードを使って、ご自身がワークショップで楽しく感じることに共感を得てくれる人を見つけ、ワークショップ参加してくれる人を招待してあげてください。誰かを招待して来てくれた方には、何かプレゼントがあるかもしれません。

T-LINE って?

ワークショップには「T-LINE」と呼ばれる市職員が入っています。ヒアリングやワークショップのファシリテーション技術を習得する研修を受けてきました。行政と市民、市民同士をLINEのようにつなぐ役割を担っているという思いが込められています。

studio-L

studio-L (スタジオエル) は、代表の山崎亮が2005年に設立。地域の課題を地域に住むひとたちが解決するコミュニティデザインに携わる。これまでに、いえしま地域まちづくり、海士町総合復興計画など、まちづくりのワークショップや住民参画の総合計画づくりなどに携わっている。 <http://www.studio-l.org>

〈問合せ先〉高浜市役所総合政策グループ

〔住所〕〒444-1398 高浜市青木町四丁目1番地2 [電話] 0566-52-1111 (内線339) [E-mail] seisaku@city.takahama.lg.jp

高浜市で「町が楽しいこと」はじめてませんか?

高浜市しあわせづくり計画
ワークショップ

TAKAHAMA HAPPY LETTER
vol.1
2015.9.5.sat



キックオフワークショップを開催しました!

9月5日(土)、総勢70名の方にご参加いただき、1回目となる「高浜市しあわせづくり計画ワークショップ」を開催しました。これから高浜市の地域福祉を考えるにあたり、ワークショップを運営するstudio-L山崎氏の講演からはじまり、ご参加いただいたみなさんご自身の身近なしあわせから、まちでの楽しみ方を考えるアイデアを出し合いました。



高浜市長 あいさつ

windowsが世に無かった時代にPARCに所属するアラン・ケイは、確実な未来予想は「未来をつくってしまうこと」だと言いました。高浜市しあわせづくり計画でも、いかに自分ができるところを行い、社会をつくっていくかにあると思います。



グループリーダー あいさつ

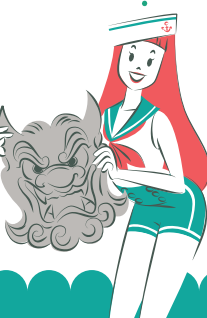
計画をつくるという重たい場ではなく、してみたいことをとりまとめる場だと思ってください。地域福祉とは防災や防犯、環境美化など多岐に渡るものです。自分がやりたいことが地域福祉になるようなワークショップにしていきたいと思っています。

〔日時〕
9月5日(土) 14:00~16:30

〔場所〕
いきいき広場

〔プログラム〕

- ・はじめに
高浜市しあわせづくり計画について
- ・ブレイクタイム
身近なもので楽しさを作りだすゲーム
- ・studio-L山崎亮氏 講演
自分が楽しんでいることをもっとかっこいいものに
- ・レクチャー
高浜市の現状を知る
- ・ワーク
楽しさを共有しよう
- ・発表、講評
- ・おわりに



ブレイクタイム...

身近なもので楽しさを作りだすゲーム

高浜市内にあるお豆腐屋さん「おとうふ工房いしかわ」の「きらず揚げ」を使った重さ予測ゲームをしました。グループのみんなで100gをめざして、自己紹介をしながら器に取り分けていきました。ぴったり取り分けることができたグループもあり、ゲームを通して結束力をぐっとあげることができました。身近にあるものを、みんなと一緒に体験するだけで、とても楽しいゲームになるということを感じました。



studio-L山崎亮氏 講演

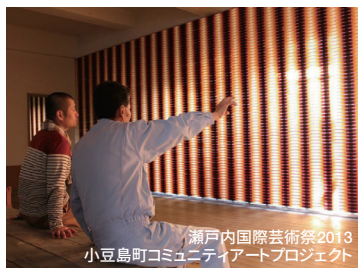
自分が楽しんでいることをもっと かっこいいものに



コミュニティには、自治会や町内会といった「地縁型コミュニティ」とFacebookやサークルといった同じ興味で集まる「テーマ型コミュニティ」があります。近年、働く場所と住む場所が違ってきており、どちらか一方だけのコミュニティの在り方という考えは難しくなっています。これらふたつのコミュニティを合わせた形がまちを面白くします。まちを変える方法はふたつあります。ひとつは「まち自体を変える」方法。物理的に図書館や公民館をつくりますが、これにはお金や時間がかかります。もうひとつは「まちの見方を変える」方法。今まで普通だと思っていたことの見方を変えることで魅力になったり、みんなで取り組むことでまちへの関わり方を変えたりすることができます。私達がやっていることは、①地域の方へヒアリング②ワークショップでみんなと話し合う③テーマ型コミュニティのチームビルディングをし、地縁型コミュニティと一緒にやる④活動のサポートです。高浜

市でも、ワークショップで考えたアイデアを、仲間を見つけて自ら実行していくことで、まちの見方や友だち関係が変わっていき、高浜市の新たな可能性を発見することができると思います。福祉という言葉には、「幸福」や「公的扶助やサービスによる生活の安定」という意味があります。公的、つまりみんなで一緒に地域を良くしていくということです。これを地域単位ですることが地域福祉へととなります。10年先の未来をみんなで考えていく必要があります。

studio-Lには、香川県小豆島の特産物である醤油を使用し、地域住民が中心となり、自らの手でアート作品をつくったプロジェクトがあります。醤油のたれ瓶が大量に余る地域課題と、酸化した醤油は使わない住民のこだわりを掛け合わせ、醤油の濃度を変え、たれ瓶に入れていくことでグラデーションの美しい作品となりました。一緒につくる中でうまれた新しいコミュニティは、今でも継続的にまちづくりの活動に取り組んでいます。



テーブルワーク...

楽しさを共有しよう

ふたつのお題「最近ハマった一人で楽しめること」「みんなでやったら楽しかったこと」をそれぞれカードに書き、グループのみんなで自分の楽しさを共有し合いました。その後、各班ごとに割り当てられたキーワード（細工人形・三州瓦・とりめし・おまんこ）に対して、自分の楽しさを掛け合わせることで、これまでになかった楽しさを生み出すアイデアを考えました。きらず揚げゲームで体験したように、身近なものや活動に新しい視点を与えることで、たくさんのユニークなアイデアがうまれました。



発表...

グループ2
細工人形



グループ3
細工人形



グループ4
三州瓦



キャンプやライブと組み合わせて、細工人形のライブを考えました。細工人形がライブをする姿をみんなで見るのは楽しそうですね。また、草取りや飲み会と組み合わせて、いらなくなった物で細工人形をつくるアイデアができました。お店で廃棄するものでつくることで、各店で独自の細工人形ができ、高浜市を注目してもらえると思います。制作過程を動画配信することも考えました。

コスプレ好きの方のアイデアをもとに、細工人形にコスプレをさせることや、反対に人間が細工人形のコスプレをするアイデアができました。作品鑑賞やカメラ、バスツアーと掛け合わせて、細工人形の鑑賞・撮影・日帰りバスツアーというアイデアも。また、瓦をつくっている方が、作品をつくるのが楽しいそうで、細工人形の新しいデザインを考えるアイデアができました。

飲むことが好きなメンバーだったので、鬼師さんにやっていただく瓦バーを考えました。普段瓦を焼く釜でピザを焼いたり、オリジナルの食器を焼いて食事をするのがいいのではないアイデアができました。また、妄想を楽しんだり、ゴザでの昼寝を楽しむことと掛け合わせて、瓦のベッドと枕で昼寝や読書、妄想を楽しむKAWARAサロンをやってみるというアイデアもできました。

各班のアイデア抜粋...

楽しさ	キーワード	アイデア	楽しさ	キーワード	アイデア
・食 事 ・食事会	×	＝	・運動 ・ランニング ・友人とゴルフ・テニス	×	＝
・相撲観戦 ・スポーツバー	×	＝	・みんなでご飯を食べる ・チーズ入りチゲ鍋を食べること	×	＝
・一品持ち帰り宴会 ・魚の食べ比べ ・刺身か煮魚 ・料理つくる ・1人男の料理	×	＝	・自生地フェスタ ・ドライブ ・万歩計	×	＝
・パン作りを教えながらみんなで作ること ・合唱 ・写真撮影 ・美術作品についておしゃべり会 ・健康体操	×	＝	・マン喫 ・昼寝 ・音楽を聞くこと	×	＝
			読書	×	＝